ロジックモデル＜心筋梗塞等の心血管疾患対策＞

施策【D】 ＜施策・取組の展開＞	初期アウトカム【C】	中間アウトカム【B】 ＜施策の方向性＞	分野アウトカム【A】 ＜目指す姿＞
1．予防 ①知識の普及啓発 ②健診の普及や取組の推進	●県民が予防に努めることにより、その生活習慣が改善している ●県民が生活習慣の確認や見直しを行っている 指標番号 C101～C109	●心血管疾患の発症を予防できている 指標番号 B101～B102	●心血管疾患による死亡が減少している 指標番号 A1～A8
2．救護 ①救急搬送体制の整備	●発症時の県民の理解が深まり、AEDの使用を含めた救急蘇生法等の適切な処置を実施することができる ●救急隊が適切に観察・判断・処置できる ●急性期医療を担う医療機関へ迅速に搬送できる体制が整っている 指標番号 C201	●発症後できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に搬送されている 指標番号 B201	
3．急性期 ①医療提供体制の構築	●24時間心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療に対応できる体制が整っている ●心血管疾患リハビリテーションを実施できる体制が整っている ●回復期の医療機関やリハビリテーション施設との円滑な連携体制が構築されている 指標番号 C301～C303	●急性期の心血管疾患の専門的な医療・リハビリテーションの質が確保されている 指標番号 B301～B303	
4．回復期 ①医療提供体制の構築 ②リハビリテーション支援	●急性期の医療機関との円滑な連携体制が構築されている ●心血管疾患患者の在宅での療養支援体制が整っている 指標番号 C401～C404	●発症早期から、合併症や再発予防、在宅復帰のためのリハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができる 指標番号 B401	●心血管疾患患者が日常生活の場で質の高い生活を送ることができている 指標番号 A9～A10
5．慢性期・再発防止 ①医療提供体制の構築 ②リハビリテーション支援 ③緩和ケア ④社会連携による支援 ⑤治療と仕事の両立支援	●心血管疾患リハビリテーションを実施できる体制が整っている ●急性期・回復期の医療機関やリハビリテーション施設との円滑な連携体制が構築されている 指標番号 C501	●日常生活の場で再発予防でき、心血管疾患リハビリテーションと心身の緩和ケアを受けることができる 指標番号 B501～B503	